



TITLE:

各地のたより

AUTHOR(S):

CITATION:

各地のたより. 天界 1939, 19(214): 121-122

ISSUE DATE:

1939-01-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167768>

RIGHT:

各地の
た　よ　り

大　阪　支　部　だ　よ　り

大　阪　支　部

プラネタリウム

編　輯　室

☑十月例仲秋名月観望會(8・9兩日) 大軌沿線「あやめ池遊園地」にて快晴に恵まれて一般公開、參觀者約 600 名位、携行望遠鏡 3 基、支部員 8 名参加。

☑銀河第 2 巻第 6 號 編輯會議は十月 22 日百濟先生宅にて出席者 8 名、十一月 5 日發行、50 頁の内容は

表紙「ストラスブルグの天文時計」、口絵「大塚隕石」扉、巻頭言「偶感」村山辯次、「ヨロツバ天文臺行脚」田中理博、「反射鏡の特質と使用法」(2) 伊達、「新田義貞の用兵と天文」田中賢博、「大塚隕石」「厝」(2) S. D.、「天聲人語」(天文讀書害)、「父の追憶と天文」西森、「秋雄の追憶」小山未亡人、「小山先生に捧ぐ」佃、「變光星の小山さん」高城、「星」「光の詩」、其他天界新知識・誌上マーケット・編輯後記等。

☑支部報第 44 號 用紙 2 枚、160 部十一月 5 日附發行。

☑十一月天文展覽會(10 日より末日まで) 電氣科學館主催、大阪支部後援、會場電氣科學館にて、會期中の一般參觀者 10987 名、支部員有志の説明あり大いに天文普及に資す、出品者は下記の如く多方面より集められた。

大阪城、島津製作所、河原寫眞機店、明星商業學校、山本一清博士、羽間平三郎氏、宮森作造氏、井本進氏、松井和三郎氏、西森紀久雄氏、廣野熊治郎氏、伊達英太郎氏、大阪支部、電氣科學館、神戸高等商船學校、恒星社。

出品物は天文学とプラネタリウムに關する器械・圖表・書籍・模型等で門外不出の貴重な物が多數あつた。

☑支部報第 45 號 用紙 3 枚、160 部十二月 5 日附、支部員名簿を含む。

☑十二月例會 10 日 19 時より電氣科學館地下食堂にて出席者 9 名。

☑『最新月面圖』第 2 版は詳細月面圖コロタイプ版 6 枚の他いろいろと月面觀測者の實益を旨とした内容を盛つて十二月 5 日發行、1 部送料共 85 錢、觀測部員は是非座右に備へられたし。

☑支部報第 46 號 用紙 1 枚、180 部一月 4 日附發行。

☑一月例會(7 日) 17 時よりプラネタリウム特別演出、20 時より地下食堂にて懇親晚餐會、出席者 40 名にて盛會。

☑銀河第 3 巻第 1 號 一月 10 日附發行 52 頁、英文欄 8 頁。

ブラネタリウムだより

☑今年中のブラネタリウム毎月的话题は次の如く発表されました。

- | | | | |
|-----|-------------|-----|-----------------|
| 一 月 | 壯麗な冬の驚異 | 七 月 | 火星の訪問、銀河の彼方 |
| 二 月 | 建國紀元々年の空 | 八 月 | 「月世界」を巡る |
| 三 月 | 春の星座さ曜に集ふ遊星 | 九 月 | 「星の一生」と謎の連星・變光星 |
| 四 月 | 太陽の驚異、日食の話 | 十 月 | ロマンズ豊かな秋の星座 |
| 五 月 | 北極の一年、南極の夜空 | 十一月 | 流星と彗星 |
| 六 月 | 「時と暦」の話 | 十二月 | 珍らしい南水洋の空 |

☑ブラネタリウム解説者募集、會員中よりブラネタリウム天文部員を下記の如き條件で募集して居りますので、志望者は電氣科學館へ直接御問合せ下さい。

1. 發音正確にして辯舌の爽やかな事
1. 身體強健にして誠實なる者

編 輯 室 よ り

本會が學會として創立して早や20年の星霜を積む事となり、學術雜誌「天界」も既に200號を突破したのは一昨年の事であつた。今次の聖戰が東亞口・滿・支三國の文化提携の大理想に邁進するものである時、吾人等天文學に携はる者も興亞の眞意義を體して、日本の天文學を滿・支に進めねばならない。特に新支那の建設に當つてはどの方面の理學も國內の統合した力で以つて當つて行かねばならない。

本會は此の大局面に鑑み國內の會員、在外會員とのより一層の緊密な親睦を圖り、本會を全會員本位の天文團體として結ばれて行きたい事を希ひます。天界も全會員に全頁を開放すると同時に學術雜誌として内容を充實します。

天界副讀本「銀河」は天界と併讀して頂く様に編輯方針を樹て本會大阪支部が發行するものでありますから、本會員は天界と同様に銀河を愛讀される事を望みます。(P. O 生)

天 界 舊 號 を 望 む

天界第1, 3, 5, 9號

以上4冊譲渡希望者は乞御照會

和歌山市南田邊町35 野 村 秋 馬